

1 循環ルートの運行形態等  
(1) 運行系統について

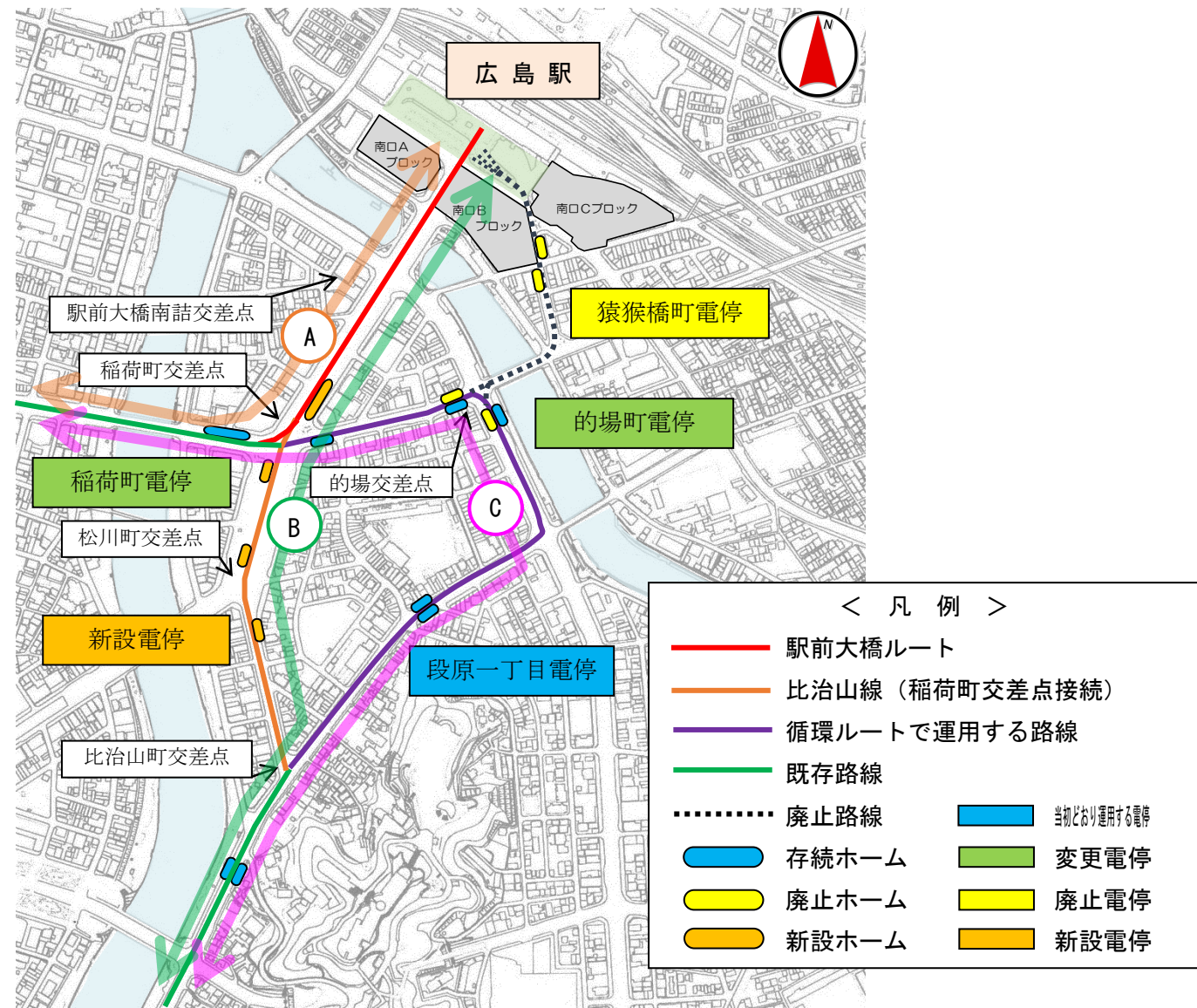


図 2-1 路面電車を駅前大橋ルートとする場合の路線運行図

表 2-1 路面電車を駅前大橋ルートとする場合の路線運行図

区分	運行区間 [( ) 内は経由電停]	現行路線番号
← A →	広島駅～(紙屋町東)～広島港	1
	広島駅～(紙屋町東・西)～広電宮島口	2
	広島駅～(紙屋町東・西)～江波	6
← B →	広島駅～(比治山下)～広島港	5
← C →	段原一丁目～的場町～八丁堀～紙屋町東～皆実町六丁目～段原一丁目	新設(循環ルート)

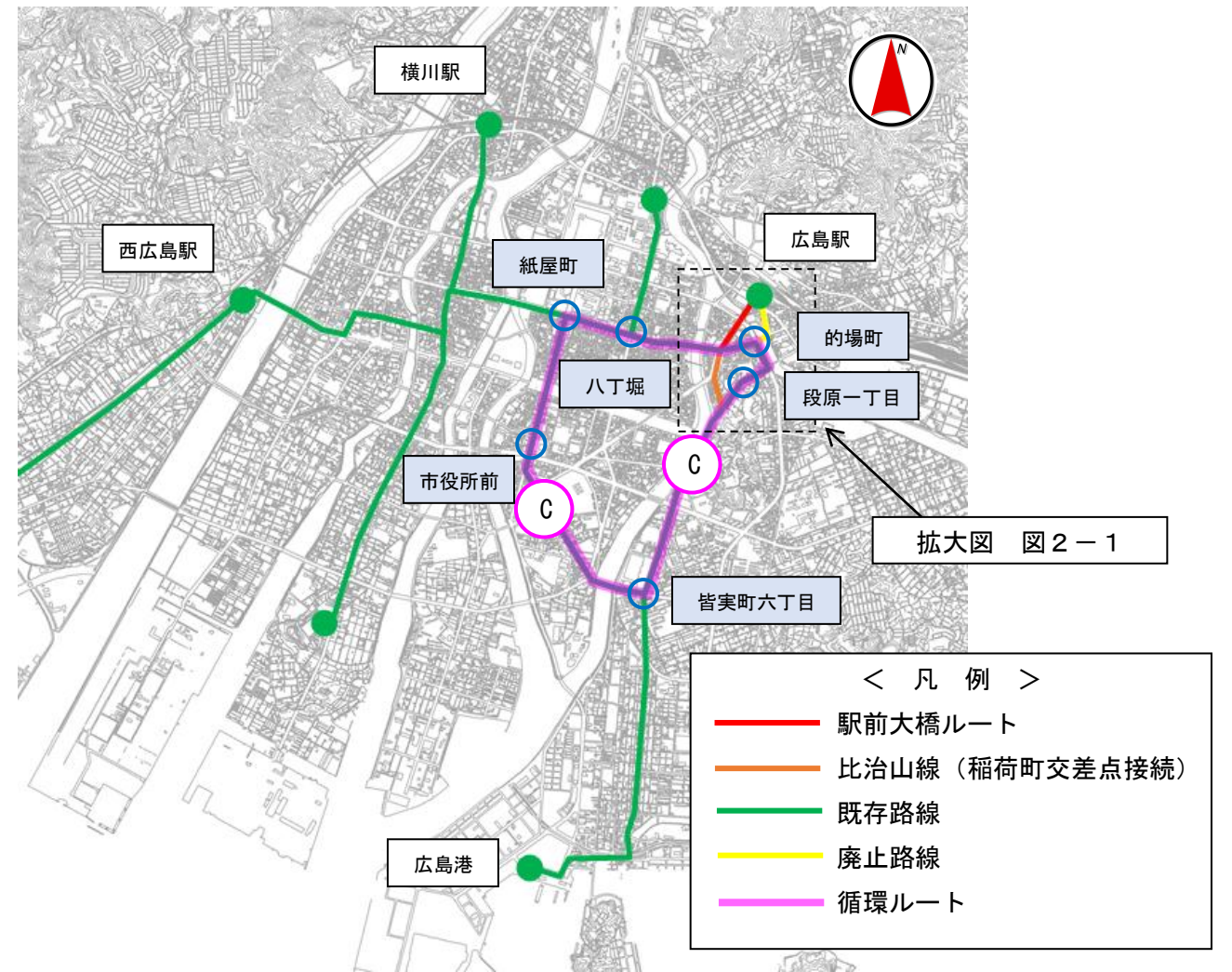


図 2-2 循環ルート図

(2) 運賃及び運行頻度について

次の内容を基本に広島電鉄とさらに協議、調整を進める。

【運賃】

運賃額については、循環ルート導入時の市内線運賃を適用する。

乗換指定電停で乗り換える場合についても、乗車電停から目的地までの通しの運賃で電車を乗り継ぐことを可能とする。

【運行頻度】

1号線、2号線など、他の運行系統と重複する区間があるため、それらの路線との連携を考慮し、駅前大橋ルートを走行する比治山線の運行頻度も踏まえ、地域の利便性が確保できる便数を設定する。

# 広島駅南口広場再整備計画平面図（案）

資料3

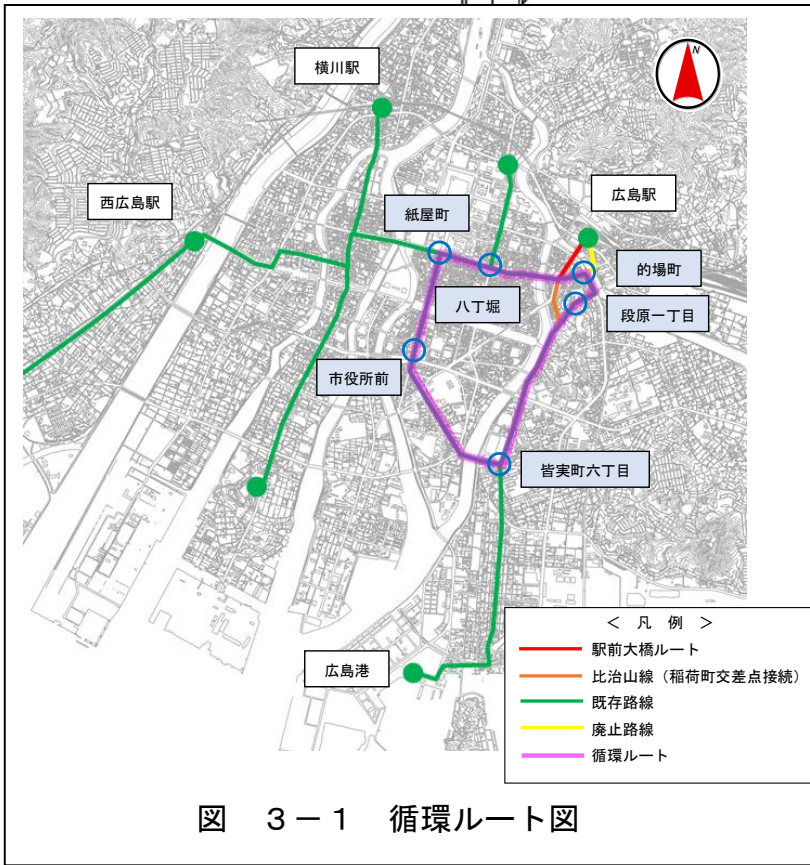
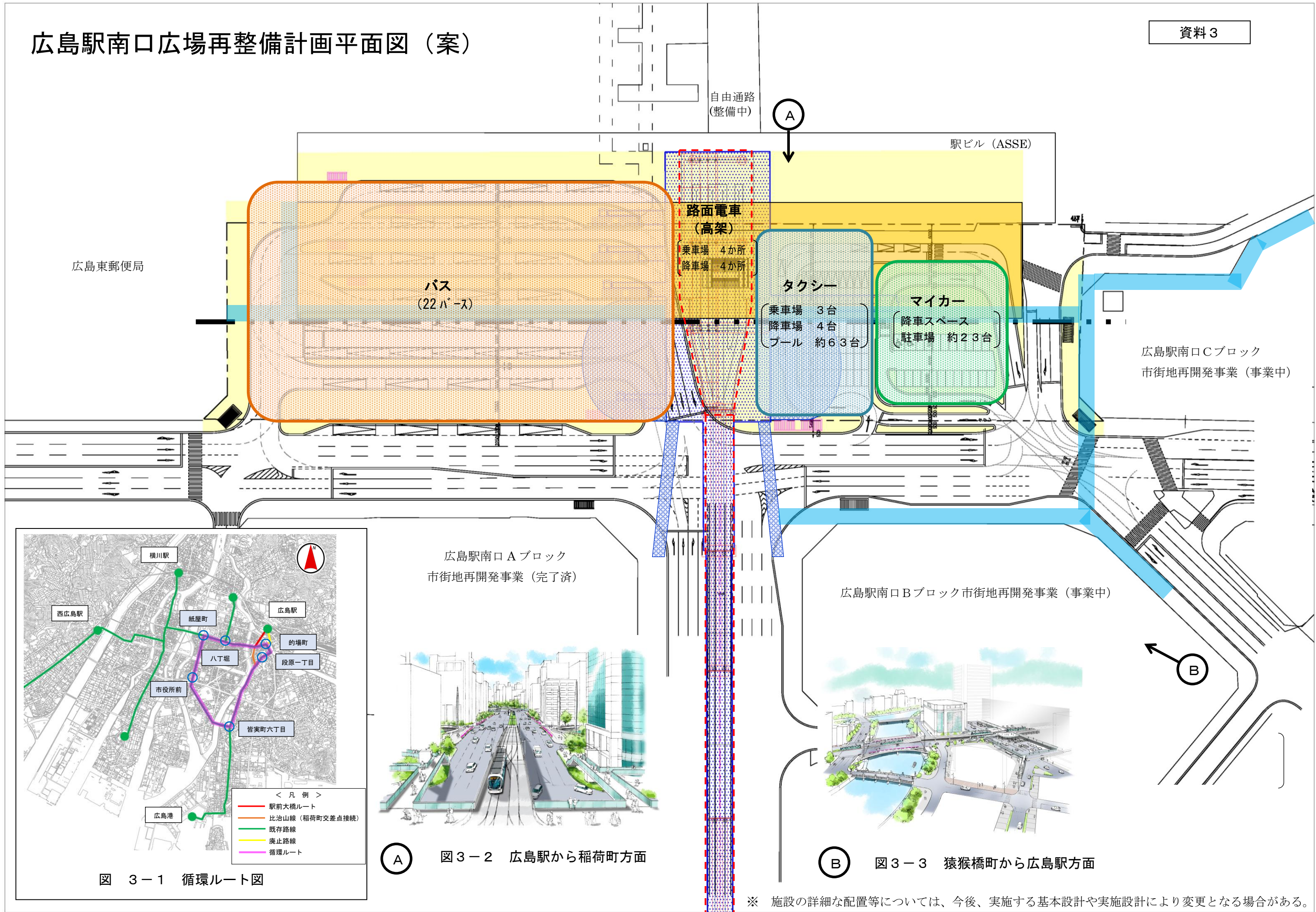


図 3-1 循環ルート図



図 3-2 広島駅から稲荷町方面

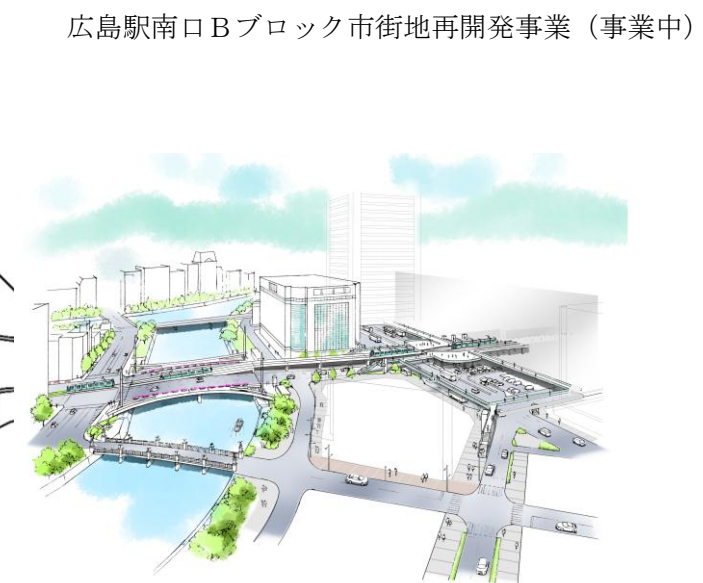


図 3-3 猿猴橋町から広島駅方面

※ 施設の詳細な配置等については、今後、実施する基本設計や実施設計により変更となる場合がある。

## 広島駅南口周辺の環境整備について

### 1 路面電車を駅前大橋ルートにする場合における広島駅南口周辺のまちづくりイメージ

広場の再整備に合わせて、歩行者の回遊性の向上及び更なる賑わいの創出を図るため、次のような事項について、整備に向けて検討を進める。

#### (1) 広島駅南口周辺における歩行者ネットワークの構築 (図1-3参照)

南口広場を中心に広島駅南口Aブロック市街地再開発事業、広島駅南口Bブロック市街地再開発事業 (以下「Bブロック」という。)、広島駅南口Cブロック市街地再開発事業区域 (以下「Cブロック」という。)、広島東郵便局方面及び広島駅自由通路を結ぶ歩行者空間を2階レベルで連絡するとともに、B・Cブロック間やBブロックから猿猴橋町方面に接続するなど、南口周辺地区における歩行者ネットワークの構築について、検討する。

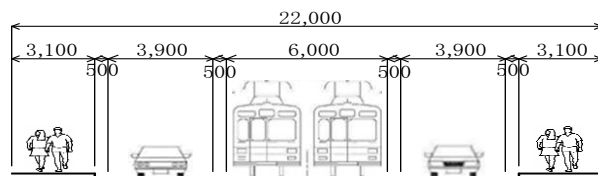
#### (2) 廃線敷の利活用

駅前大橋ルートの採用により、廃止される路面電車の走行空間 (軌道敷) について、沿線地域の方々の意見を聴きながら、歩道を拡幅して、歩きやすくすることや、自動車空間として活用して自動車交通の円滑化を図るなど、当該地区の賑わいや快適な環境の創出につなげることにについて検討する。

猿猴橋町付近: 歩行者空間として活用することで歩道を拡幅して、歩きやすいものとする (図1-1参照)。

荒神橋付近: 歩行者空間として活用することで歩道を拡幅して、歩きやすいものとする。また、自動車空間として活用し自動車交通の円滑化を図る (図1-2参照)。

#### ■ 現況断面



#### ■ 整備案

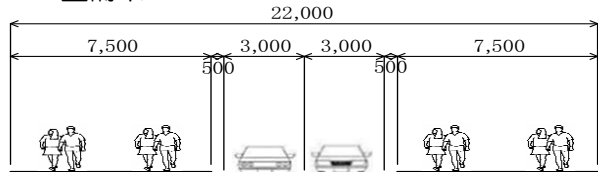
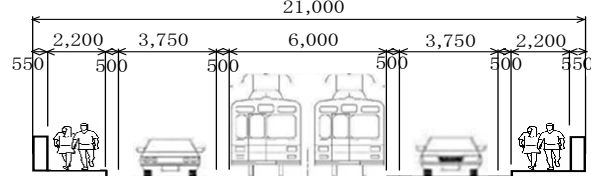


図 4-1 廃線敷の利活用イメージ (猿猴橋町付近)

#### ■ 現況断面



#### ■ 整備案

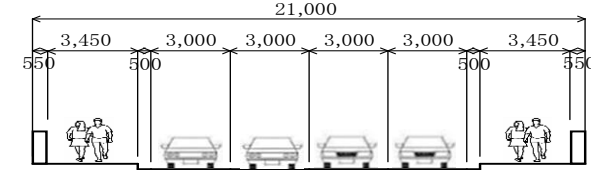


図 4-2 廃線敷の利活用イメージ (荒神橋付近)

#### (3) その他の環境整備

その他、当該地区の賑わいの創出に向けて、以下の事業等についても取り組むことを検討する。

- ア 猿猴橋復元事業
- イ 河岸緑地の整備
- ウ 猿猴橋通りの整備

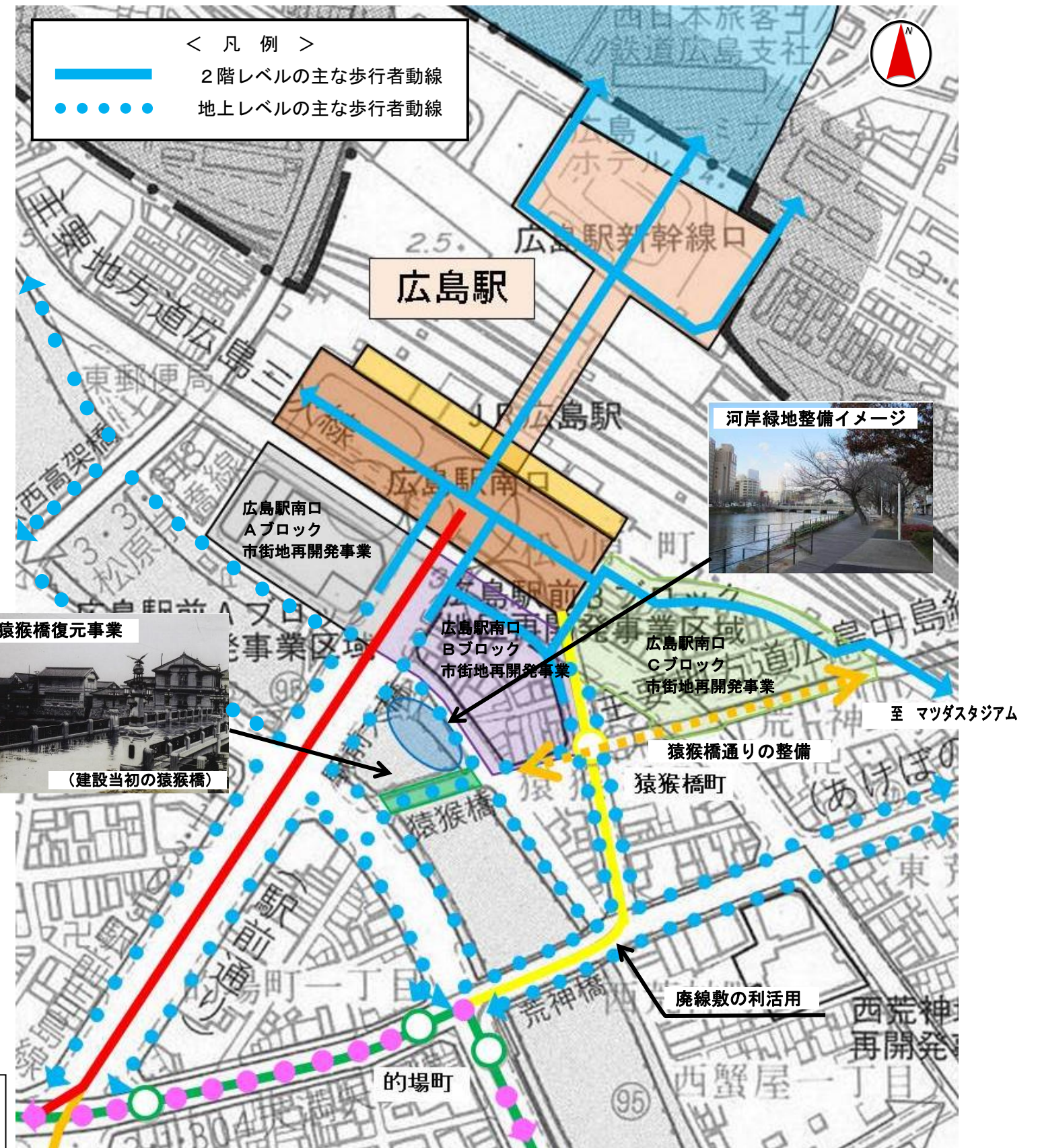
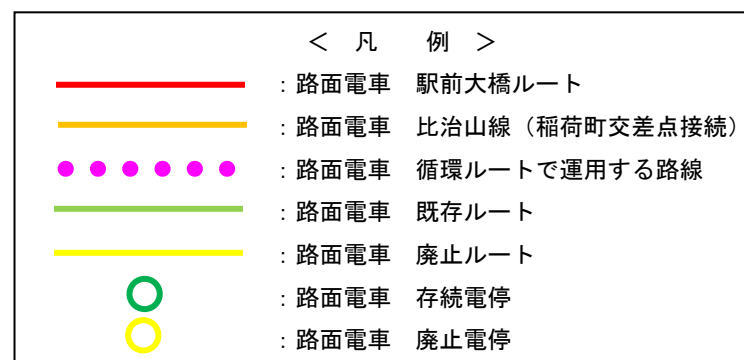


図 4-3 広島駅南口周辺のまちづくりイメージ